

## 第15回日本食海外普及功労者表彰受賞者講演内容（ビデオレター）

氷室 利夫

皆様、こんにちは。香港から氷室利夫でございます。この度は大変名誉ある賞をいただきまして、誠にありがとうございます。これもひとえに在香港日本国総領事館様、JETRO香港様、全国弁理士協会様、そして大日本水産会様の推薦によるものと大変感謝しております。もちろん、農林水産省の方々には深く感謝申し上げます。そしてこれまで私を支えてくれた社員のみならず、並びに家族には最大の感謝の意を捧げたいと思います。

もともと香港へは32年ほど前に、金融の仕事で参りました。18年ほど前に飲食の仕事に従事するようになりました。冷凍マグロの販売から手がけましたが、徐々にお客様の要望により、鮮魚、畜産、青果の輸入をはじめ、今では、卸業だけでなく小売業、宅配ビジネス、そして日本食レストランと範囲が広がっております。

川上から川下まで様々な角度で日本食材、日本食を香港の方々にお伝えしております。

私どもの事業は、現在は香港だけではなく、マカオ、シンガポール、バンコクにまで拠点を置くようになり、日本食の伝道師としてそれら地域の方々に食文化の魅力を伝えております。

ご承知の通り、香港は16年連続で日本からの食品と輸入額が世界一でございます。たった人口730万余りのこの地で、このような実績を出しているのは、まさに驚異的であり、いかに香港の方々が日本食に対する愛情が深いかということをお話しているかと思えます。

中華料理に次ぎ、日本食レストランは香港では第二位の数を占めております。その数、2500とも3000とも言われております。多種多様な日本食レストランがある香港ですが、これまでが全て順風満帆に成長してきたわけではございません。現在私が会長を務めます、一般社団法人香港日本料理店協会は、歴史が42年ございます。例えば、家賃の高騰問題ですとか、人件費の高騰、そして料理人の奪い合いなどいろんな問題が噴出してあります。そういったことを、私たち、日々協会の幹部で話し合ひまして、いかに香港での日本料理店全体の活動が円満になるか、うまくいくかという活動をしてあります。

今後も香港の日本料理店発展のために頑張っていきたいと思っております。

さて、先程この地が16年連続で世界一の日本食品等の輸入実績を誇ると申し上げましたが、昨年この地で、官民一体となった輸入促進に関わる組織が発足いたしました。香港日本産食品等輸入拡大協議会という名の組織であります。設立以来、会長を務めさせてい

ただいておりますが、多くの民間企業様や国内の省庁、地方自治体の皆様にもご参加いただき、定期的に会合を開いております。会合では今の香港の事情を皆様にお披露目し、各企業様、団体様のビジネスの後押しをしていくということを趣旨とした会でございます。

今回このような賞をいただき、大変大きな責任感も感じております。今まで以上に日本食の素晴らしさを、この香港、マカオ、そしてこれからの大湾区でひろめていきたいというふうに思っております。そしてそこから世界にこの日本食文化が発信できるように努めていきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。